



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 東京産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 里見 利夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 須藤 隆志

TEL 03-5203-7841

四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	178,054	17.9	890	20.2	1,113	16.4	721	38.1
25年3月期第3四半期	151,075	△17.6	740	△15.5	956	△8.8	522	15.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.88	—
25年3月期第3四半期	19.46	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第3四半期	31,508		18,192		57.7	
25年3月期	69,208		17,433		25.2	

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 18,192百万円 25年3月期 17,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	1.2	1,200	10.3	1,400	2.4	810	7.3	30.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	28,678,486 株	25年3月期	28,678,486 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,824,938 株	25年3月期	1,821,961 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	26,855,009 株	25年3月期3Q	26,858,964 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、日本銀行による量的金融緩和の継続や政府主導による財政政策により円安・株高が進行し、個人消費の拡大並びに設備投資もプラスに転じる等、景気回復の兆しが現れております。

一方で4月以降の消費増税の決定や原材料価格の値上がり、海外においては米国債務上限問題や新興国での経済成長の鈍化など世界経済の下振れリスクが懸念され、依然として不透明感は払拭されておられません。

このようななか、当社の当第3四半期累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ694億97百万円減少の882億66百万円（前年同四半期比44.1%減）となりました。

当第3四半期累計期間の売上高につきましては、前年同四半期に比べ269億78百万円増加の1,780億54百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

売上総利益は40億31百万円（前年同四半期比57百万円減、1.4%減）、営業利益8億90百万円（前年同四半期比1億49百万円増、20.2%増）、経常利益11億13百万円（前年同四半期比1億57百万円増、16.4%増）、四半期純利益7億21百万円（前年同四半期比1億99百万円増、38.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

受注及び販売の状況
第3四半期累計期間

(単位:百万円)

セグメント別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	54,216 (129,618)	61.4 (82.2)	△75,402	150,754 (121,776)	84.7 (80.6)	28,978	189,187 (323,309)	90.2 (95.5)	△134,122
化学機械 関連部門	16,677 (9,608)	18.9 (6.1)	7,068	12,070 (10,466)	6.8 (6.9)	1,603	9,467 (4,986)	4.5 (1.5)	4,481
電子精機 関連部門	6,051 (12,051)	6.8 (7.6)	△5,999	7,179 (11,588)	4.0 (7.7)	△4,408	4,338 (6,677)	2.1 (2.0)	△2,339
環境・船舶 関連部門	8,262 (3,905)	9.4 (2.5)	4,357	5,115 (4,680)	2.9 (3.1)	434	5,151 (2,443)	2.5 (0.7)	2,707
その他	3,058 (2,579)	3.5 (1.6)	478	2,933 (2,563)	1.6 (1.7)	370	1,580 (1,198)	0.7 (0.3)	381
合計	88,266 (157,763)	100.0 (100.0)	△69,497	178,054 (151,075)	100.0 (100.0)	26,978	209,724 (338,616)	100.0 (100.0)	△128,891

(電力関連部門)

売上高は1,507億54百万円と前年同四半期に比べ289億78百万円の増加となっております。また、成約高は542億16百万円（前年同四半期比754億2百万円減）、成約残高は1,891億87百万円（前年同四半期比1,341億22百万円減）となりました。

(化学機械関連部門)

売上高は120億70百万円と前年同四半期に比べ16億3百万円の増加となっております。また、成約高は166億77百万円（前年同四半期比70億68百万円増）、成約残高は94億67百万円（前年同四半期比44億81百万円増）となりました。

(電子精機関連部門)

売上高は71億79百万円と前年同四半期に比べ44億8百万円の減少となっております。また、成約高は60億51百万円(前年同四半期比59億99百万円減)、成約残高は43億38百万円(前年同四半期比23億39百万円減)となりました。

(環境・船舶関連部門)

売上高は51億15百万円と前年同四半期に比べ4億34百万円の増加となっております。また、成約高は82億62百万円(前年同四半期比43億57百万円増)、成約残高は51億51百万円(前年同四半期比27億7百万円増)となりました。

(その他)

売上高は29億33百万円と前年同四半期に比べ3億70百万円の増加となっております。また、成約高は30億58百万円(前年同四半期比4億78百万円増)、成約残高は15億80百万円(前年同四半期比3億81百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(イ) 資産の部

当第3四半期会計期間末における総資産は、315億8百万円となり、前事業年度末と比較して376億99百万円の減少となりました。主な要因として、売上債権及び前渡金の減少等により流動資産が375億79百万円減少し、投資有価証券の売却等により固定資産が1億20百万円減少したことによるものであります。

(ロ) 負債の部

当第3四半期会計期間末における負債合計は133億15百万円となり、前事業年度末と比較して384億59百万円の減少となりました。この主な要因は、仕入債務及び前受金の減少等により流動負債が385億62百万円減少し、繰延税金負債の増加等により固定負債が1億2百万円増加したことによるものであります。

(ハ) 純資産の部

当第3四半期会計期間末における純資産合計は181億92百万円となり、前事業年度末と比較して7億59百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は57.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績結果は、平成25年5月13日に公表致しました当期業績予想に対し概ね計画通り推移しており、平成26年3月期の通期業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,665	7,539
受取手形及び売掛金	26,286	11,998
有価証券	2,798	1,599
商品	294	384
前渡金	25,322	1,070
その他	410	510
貸倒引当金	△158	△64
流動資産合計	60,618	23,039
固定資産		
有形固定資産	2,560	2,495
無形固定資産	74	59
投資その他の資産		
投資有価証券	4,940	4,879
その他	1,055	1,075
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	5,954	5,913
固定資産合計	8,589	8,469
資産合計	69,208	31,508
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,512	4,693
受託販売未払金	16,370	4,821
短期借入金	1,570	1,252
未払法人税等	280	78
前受金	25,684	1,273
引当金	317	142
その他	490	399
流動負債合計	51,224	12,662
固定負債		
引当金	153	91
その他	397	561
固定負債合計	551	653
負債合計	51,775	13,315

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,655	2,655
利益剰余金	11,121	11,574
自己株式	△536	△537
株主資本合計	16,683	17,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	636	926
繰延ヘッジ損益	△9	7
土地再評価差額金	123	123
評価・換算差額等合計	749	1,057
純資産合計	17,433	18,192
負債純資産合計	69,208	31,508

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	151,075	178,054
売上原価	146,986	174,022
売上総利益	4,089	4,031
割賦販売未実現利益戻入額	0	2
差引売上総利益	4,089	4,033
販売費及び一般管理費	3,349	3,143
営業利益	740	890
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	136	146
その他	68	80
営業外収益合計	229	251
営業外費用		
支払利息	12	12
その他	1	16
営業外費用合計	13	28
経常利益	956	1,113
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	9	107
その他	1	—
特別利益合計	14	107
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	50	—
その他	8	1
特別損失合計	58	3
税引前四半期純利益	911	1,217
法人税、住民税及び事業税	309	356
法人税等調整額	79	139
法人税等合計	389	496
四半期純利益	522	721

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	121,776	10,466	11,588	4,680	148,512	2,563	151,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	121,776	10,466	11,588	4,680	148,512	2,563	151,075
セグメント利益又は損失 (△)	198	△115	410	125	619	121	740

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	619
「その他」の区分の利益	121
四半期損益計算書の営業利益	740

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	150,754	12,070	7,179	5,115	175,120	2,933	178,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	150,754	12,070	7,179	5,115	175,120	2,933	178,054
セグメント利益	516	129	59	27	733	157	890

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	733
「その他」の区分の利益	157
四半期損益計算書の営業利益	890